

倉敷管弦楽団創立50周年記念祝賀会開催までの流れ（イメージ）

1 規程の制定及び実行委員会の設置（目安：4月～6月）

- ・祝賀会開催の実務を担う実行委員会設置のため、設置規程（総会申し合わせ）を制定する。
- ・功績顕著な者に対し称号を贈呈するため、称号贈呈規程（総会申し合わせ）を制定する。
- ・これらには、団員総会の議決が必要である。
  - 議案が少ないため、練習の合間を縫って、早期の臨時総会開催を目指す。
  - 事前に議案の配布と賛否の聴取を行い、練習開始前に採決を行う。

2 実行委員会での検討等（目安：6月～7月）

- ・祝賀会の会場及び内容並びに贈呈する称号等について実行委員会で協議し決定する。
  - 称号贈呈は団員総会の議決を要するため優先して協議し、早期の臨時総会開催を目指す。
  - 事前に議案の配布と賛否の聴取を行い、練習開始前に採決を行う（手間であれば、「1」で開催する臨時総会で称号についての議決ももらっておくか？←ちょっと無理があるか？）。
- ※実行委員会の会議を開くいとまがなければ、書面開催としてもよい。
- ・会場や来賓の日程を押さえる等、開催に向け準備を行う。

3 祝賀会の告知等（目安：8月～9月）

- ・団員及び招待する関係者に対し、祝賀会の告知及び出欠の確認を行う。
- ・実行委員会において出欠の整理を行い、出席者を確定させる。
  - Googleフォームを活用すれば集計が楽か。

4 祝賀会の準備（9月～10月）

- ・「2」から継続して祝賀会の準備を行う。

5 祝賀会の開催（10月～12月）

- ・祝賀会を開催する。
  - 倉敷市長を招待するなら、議会日程に注意か？
- ・祝賀会后、必要に応じて来賓等に礼状を発送する。